

第五次 上田市行財政改革大綱（案）の概要

1 第五次大綱の構成

4章編成で策定

- I：大綱策定に係る基本的事項、市の現状と課題、推進期間など
- II：改革の基本方針（4つ）と方針に沿った取組事項（具体的な取組はAPで策定）
- III：改革の進め方（推進体制、アクションプログラム、改革の進捗管理と公表）
- IV：関連資料（これまでの改革の取組、人口動向、財政関係グラフなど）

2 4つの基本方針と取組事項

- 基本方針1 多様な主体との連携・協働を推進する改革
（主な取組）市民の行政参画の促進・情報共有の充実、公民連携・広域連携の推進
- 基本方針2 スマートシティの実現を目指す改革
（主な取組）市民サービス向上、行政事務の効率化、スマートシティへの転換、に向けたデジタル化
- 基本方針3 持続可能な財政運営に向けた改革
（主な取組）歳入増加の取組、事務事業の見直し、公共施設マネジメント、まちの魅力向上
- 基本方針4 時代の変化に対応する行政体制の改革
（主な取組）職員の意欲と意識向上、行政需要に柔軟な組織づくり、目標管理と事業評価

3 第四次大綱からの主な変更点

- （1）「行財政大綱の策定趣旨」を明記
- （2）構成のシンプル化
 - ・章立てを7つ→4つへ整理・集約（ページ数 29p→21p）
 - ・改革の基本方針を3つ→4つに変更
 - ・過去の改革の取組、人口や財政に関するグラフを資料集へ集約
 - ・用語集を各ページ下部に記載
- （3）新たな取組の視点
 - ・新しい公共私協力の構築
→自治体のプラットフォーム・ビルダーへの転換（地域内分権、公民連携）
 - ・DXの更なる推進
→ICT人材育成（市民・職員）、デジタルデバйд対策
 - ・人口減少社会を見据えた組織運営
→自治体の担い手不足対策
 - ・まちの魅力向上
→行財政改革が、まちの魅力低下を招かぬよう明記（人口流出対策）